

平成直方をふりかえる

- 平成 1 平成筑豊鉄道開業
 平成 2 直方市市庁舎落成
 平成 3 直方市シルバー人材センター発足
 平成 6 リバーサイドパーク集いのゾーン完成
 平成 7 第一回直方花火と炎のまつり開催
 平成 8 直方市花の都市宣言
 平成 9 のおがたチューリップフェスタはじまる
 平成 11 のおがた産業まつり開始
 平成 12 ユメニティのおがた大ホールオープン
 平成 13 直方市立図書館・谷尾美術館オープン
 平成 15 菜の花大橋開通
 平成 16 福智山ダム完成
 平成 18 高取焼開窯四百年祭開催
- 平成 22 「直方焼きスパ」を地域 B 級グルメに認定
 平成 23 新直方駅舎移転新築
 平成 24 洪水被害（7月13日・14日）
 直方病院（旧筑豊病院）駅前開院
 平成 25 木造十一面観音座像、県文化財に指定
 直方レトロ地区の建物、国の有形文化財登録
 平成 28 新勘六橋開通
 平成 29 直鞍ビジネス支援センター開設
 平成 30 洪水被害（7月7日）
 直方石炭記念館、国指定史跡指定

つながる～平成から令和へ

のおがたチューリップフェア

「花の都市」を目指し、平成4年遠賀川リバーサイドパークに1万本のチューリップが植えられたのが始まりです。今では13万本のチューリップが、訪れた人の目を楽しませています。子どもからお年寄りまで、多くのボランティアで支えられています。現在の市民参加の町づくりの第一歩となりました。

千人茶会

福岡県内の陶芸の礎となった高取焼。平成18年に高取焼四百年祭が開催されました。その後高取焼発祥の地直方をPRし、文化と歴史を受け継ごうと、平成28年から古町、明治町の商店街にて流派を超えた千人茶会が開かれ、直方のにぎわいを作り出しています。

直方レトロ

平成25年、殿町地区にあった旧讃井病院、旧奥野医院、石原商店、前田園、旧十七銀行など八つの建築物が国の有形文化財に登録されました。明治から大正時代の町並みが残っているこの地区は、直方レトロと呼ばれ、直方の観光の柱となっています。



直方藩の歴史を書いた したま そうえき 舌間宗益

江戸時代直方に置かれていた東蓮寺藩（直方藩）の、成り立ちから廃藩に至る歴史を記した「直方考」（直方旧考）という資料があります。直方藩のことを知る上で欠かせない資料となっています。作者の舌間宗益は、享保5年山部村の尾仲家に生まれ、元文5年舌間家の養子になり名前を宗益と改めました。植木代官所に六石二人扶持の微禄で仕えていましたが、四代藩主黒田長清公の死去後、直方藩が廃藩となったため、宗益は寛延4年に福岡に引き上げ、寛政6年に死去しました。

「直方考」前文によると、福岡藩還府後、直方は荒れ果て、藩の記憶も薄れていく。書物に記すことで直方藩のことが後々まで残るだろう、と考え執筆を決意したとあり、故郷直方への深い思いが伝わってきます。直方藩に伝わる公の文書は見ることはできないが、各家に伝わる文書やいろいろな資料を集めて記録した、とあり、そのため直方藩や藩主の記録のみにとどまらず、町の成り立ちや町名の由来など、直方城下の町づくりがわかる資料になっています。私情を加えず、歴史をあるがままに残そうとした姿勢にも、宗益の人柄が偲ばれます。

また宗益は二神半之助正聴（ふたがみはんのすけまさあき）が創始した日本武術、双水執流（そうすいしつりゅう）を直方で受け継ぎ、後に福岡藩へ伝承し、現代へと受け継がれています。

「郷土直方第12号 舌間宗益とその業績」直方郷土研究会 N219 /
「直方市史資料編上 直方旧考」直方市 NL219 /



はじめの一步 ～郷土資料の紹介～

直方市立図書館にある郷土関係の本を紹介していきます。

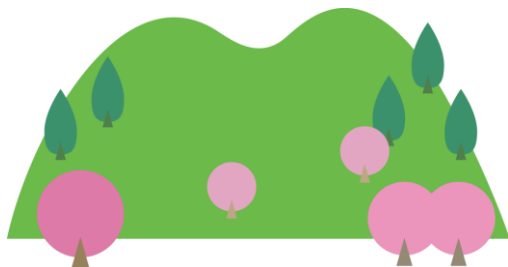
郷土の歴史や文化に興味をもっていただくきっかけになればと思っています。

今回は、さまざまな記念誌をご紹介します。

『五行歌交流誌 南の風 十周年記念歌集』「南の風」編集グループ N911 /

『日本ボーイスカウト福岡県連盟創立80周年記念誌』 N379ケ

『川柳人 創刊90周年記念特集』 N911 /



直方市立図書館

直方市山部 301-1 コミュニティのおがた内

TEL 0949-25-2240 FAX 0949-23-3902

<http://www.yumenity.jp/library/library.htm>